

12月号 No.134

社協だより

発行

社会福祉法人 三宅島社会福祉協議会
(東京都三宅島三宅村阿古 497)

平成28年12月1日発行

TEL 04994-5-7051 (代表)

FAX 04994-5-7054

IP電話 5-3155

歳末たすけあい運動にご協力ください！

歳末たすけあい運動は毎年12月に共同募金運動の一環として、社協が中心となって行っています。

この運動によって都内社協に寄せられました募金は、東京都共同募金会にて取りまとめられ、来年度(平成29年度)の地域福祉事業の財源として改めて各地域へ配分されます。

三宅島社協では赤い羽根共同募金運動に引き続き、各商店のご協力により12月26日(月)まで募金活動を行っています。

「つながり ささえあう みんなの地域づくり」にご協力いただけますようよろしくお願いいたします！

平成28年度

「歳末たすけあい・地域福祉活動募金」

歳末たすけあい運動は、共同募金の一環として実施されています。



歳末たすけあい運動

平成28年度赤い羽根共同募金運動にご協力いただきありがとうございました！
お預かりいたしました募金の集計結果につきましては社協だより1月号(No.135)にて報告いたします。



12月会食会のお知らせ

～ メニュー ～
サンドイッチ
ホワイトシチュー
ほうれん草のソテー
鶏の照焼き
マカロニサラダ
ケーキパフェ

みんなで
パーティ
ごはん！

12月10日(土)開催です！

- ・ 会場 伊豆避難施設
- ・ 時間 10時～14時
- ・ 参加料 500円

1月会食会は1月21日(土)です。予約につきましては、1月12日(木)までに社協(担当:石塚)まで電話予約をお願いします！

申し込み先 三宅島社協
(TEL 5-7051)

第14回三宅島福祉まつりを開催しました！

11月23日（祝）阿古体育館及び役場駐車場において「第14回三宅島福祉まつり」を開催しました。当日は肌寒い天候にも関わらず、来場者・出店者・ボランティアなど総勢400名以上の来場があり、会場内は大いに賑わいました。今回の福祉まつりは「笑顔で届ける感謝の気持ち！」をテーマに、普段の生活の中で何気なく支え合っている身近な方々に、日頃伝えることのできない「ありがとう」の気持ちを伝える福祉まつりとなりました。

「大盛況の島民フリーマーケット」

毎回恒例となっている「島民フリーマーケット」では初参加のグループもあり、多くの商品が会場内に並びました。また、地域の皆様のご協力もあり、社協への物品提供が多く、大型家具や家電、生活雑貨など、品揃えも豊富となり、楽しみにいただいている島民の皆様からのご期待に応えることができました。他にも島産の野菜販売やちらし寿司、赤飯や蒸しパンなど飲食物を販売する



コーナーがあり、ご来場いただいた皆様には、一日を通してゆっくりと楽しんで頂ける「地域の交流の場」をご提供できたのではないかと考えています。また、毎回参加くださっている民生児童委員協議会のコーナーでは、昔懐かしいおもちゃや折り紙などで遊ぶことができたほか、マスコットキャラクターの「ミンジー」が登場し、子ども達も大いに喜んでいました。

感謝の気持ちの数々！「ありがとうカード」展示

9月から募集していた「ありがとうカード」。日頃の感謝の気持ちを伝えるメッセージとして多くのカードが集まりました。家族や友達、地域の方や学校の先生、避難中お世話になった方々への心温まる「ありがとう」が数多く展示されました。普段はなかなか気づきにくいかもしれませんが、皆が感謝の気持ちを持ちながら生活している事がよくわかるコーナーとなりました。今回集めさせていただいた「ありがとうカード」は、今後、冊子にして社協事務所で展示する予定です。



元気いっぱい！ステージ発表



ステージ発表では初参加のグループもあり、演奏や踊り、三宅島についての紙芝居など多様なプログラムで会場を盛り上げて下さいました。また、例年参加して下さいしているアカッコ合唱団やハモニカサークル、三宅島椿会などによるステージ発表もあり、日頃の活動の成果をご披露いただきました。最後は「あじさい音頭」を皆で踊り、ステージには飛び入りで上がる方が出るなど「島の元気」を感じることもできる素晴らしいステージ発表となりました。

多くの方の支えで充実！ワクワク！ドキドキ！お楽しみ抽選会

「お楽しみ抽選会」では、日頃より社協を支えて下さっている事業所会員の皆様を中心に景品を集めさせて頂きました。会員の皆様への還元を目的としていたにもかかわらず、景品をそのままご提供頂いた事業所も有り、地域の支えの大きさを改めて感じることができました。

また、子供たち向けの抽選商品も用意した結果、多くの島っ子にも楽しんでもらうことができました。当選番号が呼ばれるたびに一喜一憂する声が上がリ、大いに盛り上がりました。

残念！強風により段ボール迷路は実施できず！室内キッズコーナーは大盛況！

駐車場で開催予定の段ボール迷路は、強風のため残念ながら実施できませんでした。楽しみにしていた子供達はガッカリした様子を見せていましたが、その後、準備していたマットや段ボールを使って遊んでもらう事が来ました。身体を動かせば皆楽しそう！段ボール迷路は別の機会に行います！



午後の体育館では、段ボールミックスやボールプールを実施しました。多くの子供達が夢中で遊ぶ姿は、会場内に元気を振りまいてくれました！



多くの方の支えに感謝！

このように盛大かつ有意義な福祉まつりを開催できたのも、ボランティアさんをはじめ、多くの方の支えのおかげと感謝し、改めて「ありがとう」の気持ちを伝えたいと思います。本会は、これからも活気ある地域づくり、そして地域の皆様が安心して暮らせる街づくりに取り組んでいきたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願い致します。

地権事業通信

～年末年始の悪質商法に気を付けよう！～

年末年始の時期は悪質商法による被害が多発する時期です。

年々手口が巧妙になっている悪質商法ですが、様々な消費者被害の背景には、単独または夫婦のみで暮らす高齢者が増加し、身近に適切な相談相手がないという問題があります。

被害を防ぐためには、高齢者の家族や地域の人々、民生委員、介護事業者などの第三者が日ごろから、高齢者とコミュニケーションをとって、何でも相談しあえる環境を作っていくことが大切です。

また、家族に1人暮らしの高齢者がいらっしゃったら、成年後見制度や地域福祉権利擁護事業の活用を提案するのも予防方法の一つです。

少しでも気になる電話があった際はお電話ください！

誘い文句に気を付けよう！

■ 必ず利益が出ます！

→ セールストークを鵜呑みにしないようにしましょう！

■ 無料で処分します！

→ 「無料」「格安」のチラシには裏があるかもかもしれません！

■ 携帯電話サイトの料金が数万円分未納になっています。

→ 不審な会社からの電話には応えないようにしましょう！

三宅島社協 権利擁護担当 ☎ 8 - 5883

平成 28 年度島しょ社協連絡協議会 参加レポート ②

報告者：事務局 吹田伊都子

前号に続き、10月7日に小笠原村父島で開催された島嶼社協連絡協議会の報告をいたします。

今回は「地域の居場所づくり」と題する荒川区社協の鈴木課長の講演報告です。社協にこれから求められることは『地域住民・ボランティアが気軽に立ち寄れる場所として機能し、【住民の生の声（情報）】をキャッチできる力』であり、将来の地域福祉の原動力と言っています。敷居の低い、なんでも相談できる場所として存在すること。それは、社協業務のほとんどが住民の身近な生活に携わるものであるということとつながってきます。そんな視点で活動している荒川区社協の取り組みで参考になったのは、多様なニーズを解決するためのテーマ別サロン活動です。住民自身が課題解決に向けたサロン活動を推進しており、「シングルマザーサロン」では、保育園を利用するシングルマザー同士が集まり、日常生活や子育て等、話しあうことで孤立を解消するサロンでした。「こども村ホッとステーション」では様々な事情で家族という機能的支援を必要とした子どもに住民ボランティアが『家族』的場所を提供しています。他にはホームレスの人々や困窮する家庭などへ食品提供で支援する「フードバンク」活動等もありました。

三宅島でも、福祉用具貸与や介護用品の販売、通院送迎サービスや会食会、訪問事業など多種多様（なんでも屋）なサービスを行っています。離島という特殊性で人の流れが限定され親密性がより高くなります。その特性を活かし、今後も多種多様化するであろう相談に対して地域のよろず屋となる相談窓口機能（情報収集の場）を強化していく必要があると感じました。

他方、三宅島の現実を見てみると、高齢化率が高く「福祉的資源」が少ない三宅では、シルバー世代の人たちの力を福祉分野に活用することが必須です。現行制度下内での介護担い手不足に対する施策は追いついておらず、国も要支援者に対する総合事業への移行推進を図っていますが、自治体の財政や力量に左右されており、地域に暮らす人たちの漠然とした将来への不安や現実の苦しみは蓄積されていくことでしょう。公的な介護サービス（共助）・家族間の介護力（自助）・それに加え地域で暮らすシルバー世代の力を地域の大きな担い手とした（互助強化）を図ることが今後の重要な課題です。三宅島社協においてもこれを重要視しながら地域福祉推進を図らなければなりません。

現在、各地区にサロン活動が少しずつ展開されています。近所に場があるということ、参加者がいるということ、これらの実態（ニーズ）を受け止め継続性・持続性・発展性などを含め、社協の役割を明確にし、ともに参画していきたいと思えます。鈴木氏が『事業は参加総数でなく、1人でもいれば実施できるもの』と最後の言葉として話してくれました。先駆的で強い発信力を持つ社協であると改めて感じる言葉でした。

最後に島内視察終え感じたことは、小笠原村は児童から高齢までの様々な福祉サービスの拠点や公共施設が10分圏内のエリアに集中しており、地域で暮らす人たちの生活の流れがすぐにイメージできました。三宅村では各サービスの拠点・公共施設が分散しており、サービスの一連の流れや島での暮らしがイメージしにくいのではと少し感じています。しかし、むしろそれらを強みに変える、三宅村ならではの児童から高齢までの一連・一体的な地域福祉への推進・充実へつなげるアイデアが求められています。

安藤元村長の『住民の声の前にサービス開始』や荒川社協の鈴木氏『事業は参加総数でなく、1人でもいれば実施できるもの』は大きな収穫となりました。住民の声やニーズは常に変化し続け法改正も繰り返される。そんな中で生まれる福祉サービスの需要と供給をどのように捉え、組織として地域福祉推進を図っていくかを改めて考えさせられました。島しょにおいては、社協が担っている地域福祉への責任・役割・期待は大きく、島しょ共通の課題があります。また、島しょの特性を活かした実践もありました。情報交流会などではそれらを再確認・共有することができ今後の事業展開に活かしたいと思えます。

小笠原村社協をはじめ、協議会開催に関わる各関係者によるおもてなしや心遣いは、竹芝を出発してから到着するまでとても素晴らしいものでした。小笠原島しょ社協連絡協議会に参加できたこと、参加に協力いただいた当事務局職員へ感謝いたします。

三宅島社会福祉協議会では職員を募集しています。

～ 訪問介護事業 ～

訪問介護ヘルパーとして、契約された方のご自宅へ訪問し、清掃・調理、入浴介助等の業務が可能な方を募集します。

■ 勤務時間

8時30分～16時30分までの間の概ね3時間程度。曜日、時間については相談に応じます。

■ 資格要件

ホームヘルパー2級以上、普通自動車免許。自家用車で訪問していただきます。

■ 待遇

時給1,250円。活動中のガソリン代、任意自動車保険の一部等費用弁償します。

～ 社協事務局 ～

事務局正規職員の募集を行います。

■ 勤務時間・待遇

8時30分～17時30分。

給与は三宅村職員給与規定に準じます。

■ 資格要件

社会福祉士・介護福祉士・介護支援専門員等、福祉資格要件必須。

事務経験あればなお可。年齢60歳まで。

■ 採用年月日：平成29年1月1日以降。

詳しくは三宅島社会福祉協議会（Tel5-7051 齋藤）までご連絡ください。

ご寄附ありがとうございます

平成28年10月末から11月にいただきました、ご寄附について報告いたします。

ご厚志誠にありがとうございます。いただきましたご寄付は島の福祉発展の為に大切に使用させていただきます。

- ・鈴木 佐智子様より 故鈴木 秀親様の香料から地域福祉事業推進のため。
- ・田中 健一様より 社会福祉協議会運営、訪問介護事業推進のため。
- ・光安 千久子様より 社会福祉協議会運営のため。
- ・匿名の方より 社会福祉協議会運営のため。

年末年始 事務局休業のお知らせ

12月28日
(水)

通常業務

12月29日(木)
～ 1月3日(火)

冬季休業

1月4日
(水)

通常業務

平成28年12月29日から平成29年1月3日までの6日間、三宅島社協は冬季休業となります。ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解いただけますようよろしくお願いいたします。

- 介護用品やオムツ等のご注文はお早めにお申し込みください。
- 訪問介護事業所につきましても冬季休業となります。予めご了承ください。

～ 通院送迎サービスをご利用の方へ ～

冬季休業前後の右記日程で、通院送迎サービスを利用される方は、12月22日(木)までに利用予約をお願いいたします！

- 12月28日(水)
- 1月4日(水)～1月13日(金)の期間



地域の掲示板



アカコッコ合唱団主催 第7回クリスマスコンサートのお知らせ！

開催日 : 12月18日(日)
 開場 : 午後5時00分
 開演 : 午後5時30分
 会場 : 伊ヶ谷
 コミュニティセンター



出演予定者

アカコッコ合唱団、ハモニカサークル、
 平井 美也子、晝間 孝夫、ヒロ・ヤマシタ、
 プア・ナニ・アロアロ、福本真弓、
 三宅島ふるさとバンド、森山 明 他

参加費 500円



※就学前の子どもは無料です！

お問い合わせ 090-3135-6710(肥後)

“風のカフェ” (認知症等介護者のためのカフェ)

11月23日に行われた『ふくしまつり』。今年初めて「風の家」として参加をさせていただきました。掲示をしながらの活動紹介や、認知症への理解と啓発

を目的とした「知って安心認知症簡単認知症チェックコーナー」、また「簡単健康体操」等のプログラムに多くの方が足を運んで頂き、とても楽しく参加させていただきました。ご準備等に取り組みされた社協の職員の皆様には改めて感謝を申し上げます。参加を通じて、島の「ふくし」に対してたくさんの方が関心を持たれていることを改めて感じる機会となりました。また、「風の家」の活動や『風のカフェ』のプログラムが一人でも多くの方にご活用頂けるよう、引き続き取り組んでいこうと思います。

風のカフェでは、ご自宅で介護に向き合われている方や、これまで介護をご経験された方々のお越しをお待ちしています。また、介護を受けられているご家族の方も、ご一緒においでいただけます。どうぞお気軽に足をお運びください。



① 次回開催: 12月3日(土) 9:00~11:30

② 次々回開催: 1月7日(土) 9:00~11:30

利用料: ¥100- / 1人 (風の家運営費としてお預かり致します)

お問合せ: 風の家 (5-1470) / 三宅村村民生活課福祉係(5-0904)

